

教育方針から

持続可能な社会の創り手となる 自立した人づくりを目指して

令和5年度は津市教育振興ビジョン後期基本計画のスタートの年です。学年間・校種間等の縦のつながりを目指した「乳幼児期から小学校への連続した学び」、学校等と家庭、地域、関係機関等の横のつながりを目指した「学校と地域が一体となって進める教育」、そして「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実を目指した「津市GIGAスクール構想の実現」を重点施策として位置付け、教育委員会はその役割をしっかりと果たしていきます。

津市 教育方針



教育方針を述べる森昌彦教育長

学校教育・幼児教育の充実

教育振興ビジョン後期基本計画の重点施策

- 乳幼児期から小学校への連続した学びについては「津市架け橋プログラム」の取り組みとして、モデル小学校区において架け橋期カリキュラムの実践・検証を行い、それぞれの取り組みを発信するとともに、公私立の幼稚園・保育所・認定こども園が互いに連携し、市全体の幼児教育のより一層の充実を図ります。
- 地域とともにある学校づくりについては、学校運営協議会と地域学校協働本部が両輪となって取り組みを進められるよう、先進事例の発信や、地域コーディネーターの養成を進めるなど、学校教育と社会教育が連携を深め、地域の人々が学校運営に参画する体制づくりを進めます。
- 津市GIGAスクール構想については、タブレット端末等を活用し、学校の授業と家庭学習をより連動させた学びを充実させ、ICTサポーターによる対応など、子どもたちの学びを支える環境の充実を図ります。
- 授業支援クラウドやデジタル学習教材等を効果的



に活用し、個別最適な学びと協働的な学びの一体化に努め、学校・家庭・地域との連携により、多様な子どもたちの資質・能力を育成します。

- 公立幼稚園に整備したタブレット端末などを、教員の専門性を高める研修等の充実や、日々の保育へ効果的に活用し、幼児教育への理解を深める子育て支援につなげます。

小中一貫教育

- 9年間を見通した系統的で連続性のある小中一貫教育の取り組みを一層充実させるとともに、幼児教育と学校教育の途切れのない指導の充実を図ります。

これからの社会を生き抜く確かな学力の育成

- 生きて働く知識・技能や、未知の状況にも対応できる思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力、人間性の涵養^{かんよう}を図り、これからの社会を生き抜いていく子どもたちに求められる確かな学力の育成に向け、特化研究プロジェクト等の取り組みを推進します。

特別支援教育の充実

- 「津市版特別支援教育ハンドブック(改訂版)」を活用し、ユニバーサルデザインの視点を生かした授業づくりとともに、学校サポーター・特別支援教育支援員等の活用や、医療関係機関などとの連携により適切な支援につなげ、通級指導教室や幼児ことばの教室における、一人一人のニーズに応じた対応の充実を図ります。
- 通常の学級担任等を対象とした研修や特別支援教育の中心を担う人材を育成するための連続講座の充実を図り、全ての教員が特別な配慮や支援が必要な子どもたちへのきめ細かな対応ができるよう努めます。

人権教育の推進・外国につながる子どもへの教育

- 子どもたち一人一人の人権意識を高め、全ての子